

成長分野へ重点的投資

急速な少子高齢化や産業構造の変化など社会・経済環境の活性化に向けた挑戦が続いています。今年3月、おおむね10年後に持続可能な成長のために、そして社会保障の充実に（2025年頃）を見据え、



横浜市長
林 文子氏

横浜経済の持続的発展のための指針となる「成長分野育成ビジョン」を策定しました。今後、特に成長が見込まれる「環境・エネルギー」「健康・医療」「観光・MICE」の3分野を柱に、成長分野への重点的投資や意欲ある企業への育成を強力に推し進めることで、経済に活力を生み出していきます。

その成長分野の中でも、「健康・医療」分野については早くからその成長性に着目し、鶴見区末広地区に研究機関やバイオ系企業の誘致・集積を進めてきました。2011年12月の「京浜臨海部ライオンベシオン国際戦略総合特区」への選定を機に、新技術・新製品開発が一層加速しています。現在、「横浜プロジェクト」として重点的に支援している七つの分野・18プロジェクトのうち、再生医療や医療機器開発などの分野では、国からの支援もいたっています。今年5月に区域指定された「国家戦略特区」をさらに追い風とし、規制緩和や制度改革を最大限に活用して研究開発・実用化を促進していきます。

また、「環境・エネルギー」分野では、国から「環境未来都市」の選定を受け、省エネ住宅の促進による市内企業の事業機会拡大などに広く取り組んでおり、最近では世界的な賞である「リー・クワン・ユー世界都市賞」の特別賞を受賞するなど、その先進的な取り組みは国の内外から高い評価をいただいています。

さらに、「観光・MICE」分野では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催という好機を捉え、国の「グローバルMICE戦略都市」として選ばれた横浜ならではのホスピタリティで、世界中からのお客さまをお迎えします。

これからも企業の皆さまとともに、横浜経済をダイナミックに成長させ「活力ある横浜」を実現してまいります。

ビジネス環境創出に弾み

少子高齢化や地球環境問題など、国内外が直面する課題を積極的に推進します。解決に資する産業創出が求められています。このため川崎市は多様な主体の連携により



川崎市長
福田 紀彦氏

を生かした取り組みをより一層発展・拡大させるため「グリーンイノベーション推進方針」を策定しました。この指針に基づき、環境技術情報の共有・発信、事業者等と連携したプロジェクトの展開、技術移転等のリーディングプロジェクトの実施、ネットワークの構築と既存組織との連携などの取り組みを推進してまいります。

二つ目が「ウェルフェアイノベーション」です。企業等が有する技術力やノウハウを用い、福祉関係者等と連携し、福祉製品やサービスを創出・活用することにより、高齢化に伴う課題の解決と人々の幸福を支える産業の発展に取り組んでいます。この基盤として、福祉関係者で構成する「ウェルフェアイノベーションフォーラム」を設け、効果的に取り組みを推進してまいります。

三つ目が「ライフィノベション」です。羽田空港多摩川対岸の「キングスカイフロント」を中心に、ライフィノベシオン・環境分野の国際的先端研究開発拠点の形成を進めており、官民の研究機関やグローバル企業などが続々と集積しています。今年5月には、神奈川県全域を含む東京圏が国家戦略特別区域に指定され、世界で一番ビジネスがしやすい環境の創出に弾みがつくものと考えています。羽田連絡道路を早期に実現し、羽田空港を核とした拠点整備を進めることで、研究開発を新しいビジネスにつなげる基盤をつくってまいります。また、「新川崎・創造のまち」では、新技術の研究開発を進めるとともに、新たな産学交流・研究開発施設の整備を計画し、先端産業の集積促進と新しい産業創出によるイノベーションの実現を目指しています。

こうした三つのイノベーションの推進により、国際的な課題解決に貢献し、本市、そして我が国の経済活性化と持続的な成長をけん引してまいります。

日本全体の発展に貢献

本年6月、圏央道の相模原道、関越道が接続され、愛川インターチェンジ（IC）から高尾山ICまでの区間が開通し、東名高速、中央



相模原市長
加山 俊夫氏

向上、災害時の緊急輸送路としての活用など、本市を含む周辺地域の安全、安心や活性化にも大きく寄与すると確信しています。本市としても市内2カ所のIC周辺に四つの産業拠点の創出を図り、幅広い企業活動を支援してまいります。

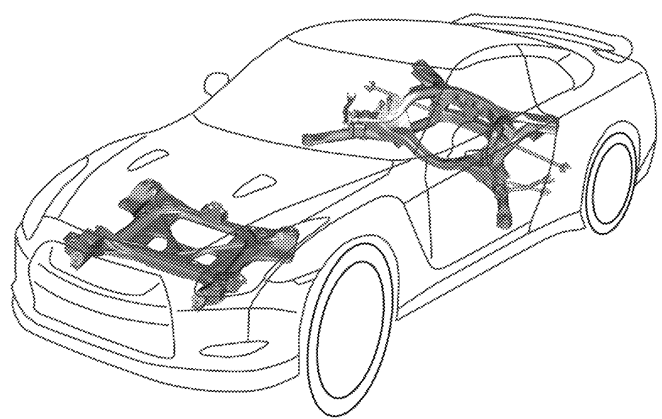
現在、圏央道の神奈川県区間の10市2町を対象区域として、生活支援ロボットの活用などを目的とした「さがみロボット産業特区」が推進されています。本市には、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の相模原キャンパスがあることから宇宙関連企業が進出しているほか、世界に誇るオンリーワン技術を持った企業や、制御装置、センサーといったロボット産業に不可欠な高度技術を有する企業など、幅広い業種の企業が数多く立地しており、引き続き、研究開発や販路開拓、産学連携などの取り組みを積極的に支援し、地域産業の活性化につなげてまいりたいと考えております。

また、昨年9月、リニア中央新幹線の神奈川駅が本市緑区の橋本駅付近に設置されることが示されました。さら

政令指定都市市長メッセージ

2

走りの未来は、ここから生まれる。 サスペンションの「ヨロズ」



ヨロズは自動車メーカーの良き開発パートナーとして、新しい時代の新しいクルマ作りに貢献しています。

東京証券取引所市場第1部（証券コード7294）

株式会社 **ヨロズ**
http://www.yorozu-corp.co.jp

（本 社）神奈川県横浜市港北区榑町3-7-60
TEL：045-543-6800（代） FAX：045-543-4915
（ヨロズグローバルテクニカルセンター）栃木県小山市横倉新田443
TEL：0285-42-9830 FAX：0285-42-9838



Safety & Reliability

安全と安心を創造し、進化させていく信頼の技術

株式会社 **京三製作所**

鉄道信号システム 交通管理システム 電力変換システム インフォメーションシステム

本社・工場：横浜市鶴見区平安町2-29-1 TEL.(045)501-1261
東京事務所：東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）TEL.(03)3212-0451
http://www.kyosan.co.jp

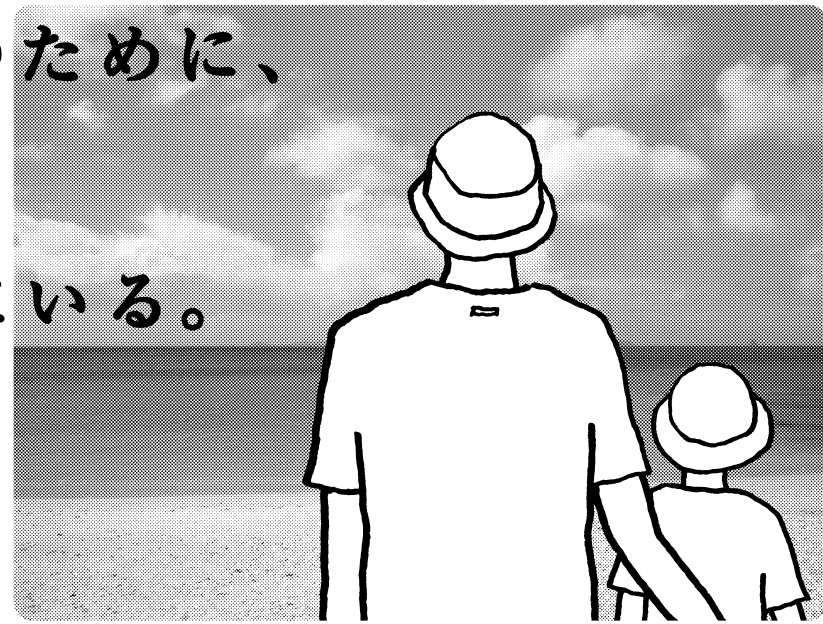
「人」に 「もの」に 「地球」に“優しい” 食品流通のエキスパート

ヨコレイ
GROUP

http://www.yokorei.co.jp/



いつもの
安心のために、
いつも
そばにいる。



化粧品による肌のトラブルをなくしたい。そんな想いから無添加化粧品を生み出したファンケル。以来、サプリメントや発芽米、青汁などさまざまな商品とサービスを、安心、安全、やさしさの視点から提案しつづけています。

FANCL